

2024年度（令和6年度） 町田市立南中学校 社会科（歴史） 1年 年間指導計画及び評価基準

使用教科書：中学生の歴史（帝国書院） 年間授業時数：50時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価基準
6	<p>第1節 歴史の流れと時代区分</p> <p>"1 歴史をたどろう</p> <p>"2 年代の表し方と時代区分</p> <p>第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた</p> <p>"1 歴史の謎を探る～問いを作ろう～</p> <p>"2 資料をよく見てヒントを探そう</p> <p>3 謎解きの答えを分かりやすくまとめよう</p>	<p>2</p> <p>3</p>	<p>"<第1部第1節のねらい></p> <p>①中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させ、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。</p> <p>②小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し表現させる。"</p> <p><第1部第2節のねらい></p> <p>①身近な地域のなかで受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとのかかわりのなかで地域の歴史を調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。</p> <p>②博物館や郷土資料館などの利用や地域の人々の協力も考慮し、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる</p>	<p>1 絵を活用して、小学校で学んだ内容を取り上げ、歴史を大きく変えた人物や出来事を考察し、時代を区分することの意味や意義を理解する。</p> <p>2 "西暦、世紀、元号の意味と使い方を理解する。</p> <p>政治の中心地による時代区分や文化の特徴から名付けられた時代区分があることを理解する。</p> <p>"</p> <p>1 地域の歴史にふれ、調べてみたいことがらを探し、班で話し合うなどしてから調べる課題を決定する。</p> <p>2 教科書や地域の副読本など、身近な資料から基本的な情報を集め、調べる視点を明確にして、いくつかの予想（仮説）を立てる。ルートマップなどの地図を用意し、マナーを守りながら野外調査や聞き取り調査を行って、情報を収集し、整理する。(ICTの活用)</p> <p>3 "調べたり考えたりしたことを整理し、まとめの報告書（レポート）を作成する。</p> <p>調べたことを発表し、意見交換を行ったのち、調査全体をふりかえり、改善できる点や工夫できる点を探して、今後の調査活動に生かせるようにする。"</p>	<p><第1部第1節の評価基準></p> <p>①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。</p> <p>①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p>②時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。</p> <p>③過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p><第1部第2節の評価基準></p> <p>①自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとの関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p>②比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心を持ち、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>"第1章 古代 古代国家の成立と東アジア</p> <p>"第1節 人類の登場から文明の発生へ</p> <p>"1 人類がたどった進化</p> <p>"2 世界各地で生まれる文明</p> <p>"3 東アジアの文明の広が</p>	6	<p>"<第2部第1章のねらい></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。</p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。</p>	<p>1 "環境の変化とともに、人類はどのように進化してきたのかを、文章や資料から読み取り、表または図にまとめる。</p> <p>"</p> <p>2 文明はどのような地域で誕生し、またその地域ではどのようなものが生まれたのかを、文章や地図資料から読み取り、表にまとめる。</p> <p>3 中国に登場した秦や漢ではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取る。</p>	<p><第2部第1章の評価基準></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。</p> <p>①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの</p>

<p>り</p> <p>" 4 ギリシャとローマの政治と文明</p> <p>" 5 仏教・キリスト教・イスラム教の誕生</p> <p>6 節の問いを振り返ろう</p>		<p>①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。</p> <p>①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究させる。"</p> <p>"<「世界の古代文明や宗教のおこり」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。</p> <p>○ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。"</p>	<p>4 ギリシャとローマではどのような政治が行われたのか、文章や資料から読み取り、現代の民主政治と異なる点を考える。</p> <p>5 "世界的な規模で信仰されている宗教は、どのように生まれ、広まっていったのか、文章や地図から読み取る。</p> <p>6 各文明が成立したときに出来たものを確認させる。</p> <p>"</p>	<p>文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</p> <p>①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p><「世界の古代文明や宗教のおこり」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、文明や宗教の特徴を比較して考察し、共通点に気づくなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の古代文明や宗教のおこりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>7</p>	<p>第2節 東アジアの中の倭(日本)</p> <p>"・タイムトラベル①</p> <p>縄文時代を眺めてみよう</p> <p>紀元前25～前20世紀ごろのある場面</p> <p>タイムトラベル②</p>	<p>4</p> <p>"<「日本列島における国家形成」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などにもとづく信仰が後の時代にもつながっていることに気づかせる。</p>	<p>・縄文時代と弥生時代の集落をえがいた想像図を比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があるかを読み取り、各時代の特色を考え、疑問があれば追究すべき課題(生徒自身の「単元を貫く問い」)を設定する。</p> <p>1 縄文時代から弥生時代にかけて、人々の生活はどのように変化したのか、稲作とかがかわらせて考える。</p> <p>2 日本列島の各地にあった国々はどのようにしてまとまってい</p>	<p><「日本列島における国家形成」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②農耕の広まりや生産技術の発展に着目して、農耕の広まりが生活や社</p>

	<p>弥生時代を眺めてみよう 紀元2～3世紀ごろのある場面" "1 縄文から弥生への変化 "2 ムラがまとまりクニへ "3 鉄から見えるヤマト王権 ◇節の問いを振り返ろう◇</p>		<p>○古墳の大きさやその分布をもとに、ヤマト王権の勢力の広がりを大きくとらえさせ、東アジアとのかかわりについては、大陸から移住してきた人々のわが国の社会や文化に果たした役割に気づかせる。"</p>	<p>ったのか、中国の歴史書が伝えていることなどをもとに考える。 3"ヤマト王権はどのようにして勢力を拡大していったのか、鉄や前方後円墳が各地に広まった理由をもとに考える。 ◇ムラからクニ、さらにヤマト王権へとまとまる過程を確認させる。"</p>	<p>会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
9	<p>"第3節 中国にならった国家づくり "・タイムトラベル③ 奈良時代を眺めてみよう 8世紀ごろのある場面" "1 ヤマト王権と仏教伝来 "2 律令国家を目指して "3 律令国家での暮らし "4 大陸の影響を受けた天平文化 ◇節の問いを振り返ろう◇</p>	6	<p>""<「律令国家の形成」「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元のねらい> ○聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえさせ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。 ○大陸からもたらされた仏教が、わが国の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づかせ、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解させる。"</p>	<p>・縄文時代や弥生時代の集落などと奈良時代の国分寺建設のようすをえがいた想像図を比べて、どのような点に変化し、どのような共通点があるのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。（ICTの活用） 1 蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくろうとしたのか、蘇我氏と聖徳太子が協力して行った政策などをもとに考える。 2 東アジア諸国との関係のなかで、倭（日本）はどのような改革を進めたのか、天智天皇と天武天皇が行った政策などを文章や資料から読み取ってまとめる。 3 奈良時代の土地制度、税制度は人々の生活にどのような影響を与えたのか、資料などをもとに考える。 4 "奈良時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、大陸の影響と文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇飛鳥時代、奈良時代に行われた政策を確認させる。"</p>	<p><「律令国家の形成」「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元の評価規準> ①律令国家の確立に至るまでの過程をもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>"第4節 展開する天皇・貴族の政治 "・タイムトラベル④ 平安時代を眺めてみよう 11～12世紀ごろのある場面 "1 権力を握った貴族たち "2 唐風から日本風へ変わる文化 ◇節の問いを振り返ろう◇ "章の学習を振り返ろう</p>	4	<p>"<「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元のねらい> ○摂関政治をもとに平安京における貴族の政治の特色をとらえさせる。 ○東アジアの情勢の変化によって、わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気づかせる。 ○日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気づかせ、文化の国風化が進んだことを理解させる。"</p>	<p>・平安時代（平安京）における人々や貴族の生活の様子をえがいた想像図を見て、奈良時代（平城京）と比べてどのような点に変化し、どのような共通点があるのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。 1 平安京に都を移したのち、朝廷の政治にどのような変化が見られるようになり、なぜ藤原氏が政治の実権を握ることができたのか、文章や系図などをもとに考える。 2 "平安時代にはどのような特色をもった新しい文学や仏教が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇奈良時代の天平文化との違いに注目させる。" "古代の日本で国が成立するための共通点や必要なことを考え、最も重要なものを選び、その理由とともに発表し合う。 古代とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換</p>	<p>"<「古代の文化と東アジアとの関わり」を扱うこの単元の評価規準> ①摂関政治をもとに、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>

1	<p>"第1節 武士の世の始まり"</p> <p>"・タイムトラベル⑤"</p> <p>鎌倉時代を眺めてみよう</p> <p>13～14世紀ごろのある場面"</p> <p>"1 各地で生まれる武士団"</p> <p>"2 朝廷と結び付く武士"</p> <p>"3 鎌倉を中心とした武家政権"</p> <p>"4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化"</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>	6	<p>"<「武家政治の成立とユーラシアの交流」を扱うこの単元のねらい>"</p> <p>○武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。</p> <p>○武家政治の特徴を考察し、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換の様子に気づかせる。"</p>	<p>を行ったりする。"</p> <p>・鎌倉時代の農村のようすをえがいた想像図を見て、平安時代と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。（ICTの活用）</p> <p>1 武士はどのようにして現れ、都や地方でどのような役割を果たし、どのように成長していったのかを、文章や資料などから読み取る。</p> <p>2 平氏はどのような出来事をきっかけにして実権をにぎり、どのような政治を行い、なぜ滅ぼされたのか、予想を立てたり、文章や資料などから読み取ったりする。</p> <p>3 鎌倉を中心とした武家政権は、どのような特徴をもっていたのか、御家人の視点から考えたり、まとめたりする。</p> <p>4 鎌倉時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、武家の政治や新しい仏教の動きに着目させ、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇武士が土地を守るためにどのような関係を築いたかを確認させる。"</p>	<p><第2部第2章の評価規準></p> <p>①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</p> <p>①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p> <p>②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
2	<p>"第2節 武家政権の内と外"</p> <p>"1 海を越えて迫る元軍歴史を探ろう"</p> <p>東アジアに開かれた窓口博多"</p> <p>"2 南北朝の内乱と新たな幕府"</p> <p>"3 東アジアの交易と倭寇"</p> <p>"4 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易"</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>	5	<p>"<「武家政治の展開と東アジアの動き」を扱うこの単元のねらい>"</p> <p>○元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかわりが見られたことを理解させる。</p> <p>○南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力をもったこと、日明貿易で銅銭が大量にもたらされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気づかせる。"</p>	<p>1 蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのか、文章や絵画資料などから読み取ったり考えたりする。（ICTの活用）</p> <p>2 鎌倉幕府はどのようにしてほろび、その後、政治はどのように変化していったのか、守護と守護大名の違いなどに着目し、資料などから読み取ったり考えたりする。</p> <p>3 室町幕府は東アジア諸国とどのような関係を築いたのか、文章や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。</p> <p>4 琉球王国やアイヌの人々は周辺諸国とどのような関係を築いていたのか、資料や地図などをもとにして、図を用いてまとめる。</p> <p>◇日本は、特に中国とどのような関係を築いたかに注目させる。</p>	<p>"<「武家政治の展開と東アジアの動き」を扱うこの単元の評価規準>"</p> <p>①元寇が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかわりが見られたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②東アジアの交流に着目して、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>
	<p>"第3節 人々の結び付きが強まる社会"</p> <p>"・タイムトラベル⑥"</p> <p>室町時代を眺めてみよう</p>	6	<p>"<「民衆の成長と新たな文化の形成」を扱うこの単元のねらい>"</p> <p>○農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が、当時</p>	<p>・室町時代の港町のようすをえがいた想像図を見て、鎌倉時代と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。</p>	<p>"<「民衆の成長と新たな文化の形成」を扱うこの単元の評価規準>"</p> <p>①農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸</p>

	<p>1 5世紀ごろのある場面"</p> <p>"1 技術の発達とさまざまな職業</p> <p>"2 団結して自立する民衆</p> <p>"3 全国に広がる下剋上</p> <p>"4 庶民に広がる室町文化</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p> <p>"章の学習を振り返ろう</p> <p>武家政権の成長と東アジア</p>		<p>の社会の大きな変化であることや、それにともなって商品流通が活発化したことに気づかせる。</p> <p>○武家政治の展開や民衆の成長を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ、この時代の文化の中に現代に結びつくものが見られることに気づかせる。</p> <p>○各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し、自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気づかせる。 "</p>	<p>1 鎌倉・室町時代において、産業と交通はどのように発達したのか、農業生産力向上のための工夫やさまざまな職業の登場、商業、運送業などの発達に着目させ、絵画資料などから読み取ってまとめる。</p> <p>2 争いや戦乱が続くなかで、人々はどのような行動を起こしたのか、「自分たちの力」「利害」「結びつき」をキーワードにして、資料などからその具体例を見つけ出してまとめる。</p> <p>3 応仁の乱をきっかけに、各地でどのような勢力が新たに力をつけたのか、地図などをもとに調べたりまとめたりする。</p> <p>4 "室町時代にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。</p> <p>◇タテとヨコのつながりに注目させる。"</p> <p>"中世までに登場した身分や職業を武士と庶民のまとまりに分けて、それぞれのタテとヨコの関係図をつくり、どのような結びつきがなぜ強められたかを考え、話し合う。</p> <p>中世とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。"</p>	<p>資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②農業や商工業の発達に着目して、民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>
<p>3</p>	<p>"第1節 大航海によって結びつく世界</p> <p>"1 ヨーロッパの変革</p> <p>"2 大航海時代の幕開け</p> <p>"3 東アジアの貿易と南蛮人</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>	<p>4</p>	<p>"<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにともなって、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼし、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</p> <p>○新航路の開拓の背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気づかせる。"</p>	<p>"<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>1 ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>2 交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>3 世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>	<p>"<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>
	<p>"第2節 戦乱から全国統一へ</p> <p>"タイムトラベル⑦</p> <p>安土桃山時代を眺めてみよう</p> <p>1 6世紀ごろのある場面"</p>	<p>4</p>	<p>"<「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元のねらい></p> <p>○織田信長が行った仏教勢力への圧迫や関所の撤廃、豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって、中世の大きな勢力が力を失ったことや、中世までとは異なる社会が生まれていったこと</p>	<p>・安土桃山時代の町づくりが行われているようすをえがいた想像図を見て、鎌倉・室町時代と比べて、どのような点が変わり、どのような共通点があったのかを読み取り、疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。</p>	<p><「世界の動きと統一事業」を扱うこの単元の評価規準></p> <p>①織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②統一政権の諸政策の目的に着目して、中世社会から近世社会への変化</p>

	<p>"1 信長・秀吉による全国統一</p> <p>"2 秀吉が導いた近世社会</p> <p>"3 戦国大名と豪商が担った桃山文化</p> <p>◇節の問いを振り返ろう◇</p>	<p>などの大きな変化に気づかせる。</p> <p>○当時の対外関係として、東南アジアなどとの積極的な貿易、キリスト教への対応、朝鮮への出兵などがあったことを取り上げる。</p> <p>○南蛮文化が取り入れられる一方、生活に根ざした文化が広がり、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪華・華麗な文化が生み出されたことに気づかせる。"</p>	<p>1 織田信長は、どのようにして全国を統一していったのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに読み取る。</p> <p>2 豊臣秀吉が国内と海外に対して行った政策は、どのような影響を残したのか、絵画資料や地図、法令などの資料をもとに考える。</p> <p>3 "織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。(ICTの活用)</p> <p>・◇人々の生活や経済の変化に注目させる。"</p>	<p>が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③統一事業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
--	---	--	---	---

※大半の授業で映像や資料の提示のために ICT を活用している。